

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2011-528706(P2011-528706A)

【公表日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-047

【出願番号】特願2011-519228(P2011-519228)

【国際特許分類】

A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
G 0 1 N	33/547	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	47/48
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/32
A 6 1 K	47/36
A 6 1 K	47/42
G 0 1 N	33/547

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年4月18日(2014.4.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

隨意に置換されたアリール基又はヘテロアリール基に存在し得る置換基としては、例えばアルキル基(好ましくはOH又はCO₂Hによって隨意に置換されたC₁₋₄アルキル基、特にメチル基)、-CN、-NO₂、-CO₂R、-COH、-CH₂OH、-COR、-OR、-OCOR、-OCO₂R、-SR、-SOR、-SO₂R、-NHCOR、-NRCOR、NHCO₂R、-NR.CO₂R、-NO、-NHOH、-NR.OH、-C=N-NHCOR、-C=N-NR.COR、-N⁺R₃、-N⁺H₃、-N⁺HR₂、-N⁺H₂R、ハロゲン原子、例えばフッ素原子又は塩素原子、-CCR、-C=CR₂及び-C=CHR(ここで、各Rは独立して水素原子又はアルキル基(好ましくはC₁₋₆アルキル基)、アリール基(好ましくはフェニル基)、又はアルキル-アリール基(好ましくはC₁₋₆アルキル-フェニル基)を表す。)から選ばれる1つ以上の同一又は異なった置換基が挙げられる。電子求引置換基の存在が特に好ましい。好ましい置換基は例えばCN、NO₂、-OR、-OCOR、-SR、-NHCOR、-NR.COR、-NHOH及び-NR.CORが挙げられる。